第47回ＪＳＣＡブロック対抗水泳競技大会IN 近畿
インフロニア草津アクアティクスセンター(50m)

b　　2026年10月3日(土)～10月4日(日)

順位	氏名	チーム名		タイム	標準突破	備考
No.15 女子 15～18歳 400m 自由形 Ｔ決勝						
2位	玉置　侑衣	(東海) 1 toSWIM	高2	4:20.18	·JOC(CS)	10級
No.58 女子 13～14歳 4×100m メドレーリレー Ｔ決勝						
1位	大羽　柚希	(東海)	4:18.95	1:09.26		
	水谷　和瑚	(東海)		1:10.41		
	小髙　碧美	(東海)		1:00.47		
	丹所　潤瑠	(東海) 1 toSWIM		58.81		
No.62 女子 無差別 800m 自由形 Ｔ決勝						
2位	玉置　侑衣	(東海) 1 toSWIM	高2	8:53.12	·JOC(CS)	10級

2日目

No.78 女子 13～14歳 100m 自由形 予選						
3位	丹所　潤瑠	(東海) 1 toSWIM	中3	59.67		10級
No.109 女子 13～14歳 100m 自由形 決勝						
4位	丹所　潤瑠	(東海) 1 toSWIM	中3	59.52		10級
No.121 女子 13～14歳 4×100m フリーリレー Ｔ決勝						
1位	小髙　碧美	(東海)	3:55.77	58.56		
	丹所　潤瑠	(東海) 1 toSWIM		59.16		
	細江胡乃栞	(東海)		59.54		
	小野　晏奈	(東海)		58.51		

2026年10月3日（土）から4日（日）までの2日間、滋賀県のインフロニア草津アクアティクスセンター（50m）において、第47回JSCAブロック対抗水泳競技大会IN近畿が開催された。本大会は、全国各地域のブロックを代表する精鋭が一堂に会し、個人種目およびリレー種目で競い合う全国大会である。各ブロックの代表枠を懸けた選考は非常に厳しく、地区や種目によっては通常の全国大会に出場する以上に代表入りが難しい、極めてハイレベルな大会として位置づけられている。日頃の練習成果を発揮して順位と得点を争うだけでなく、全国の強豪選手と競うことで競技力やチーム力を高め、自らの現在地と今後の課題を確認するうえでも大きな意義を持つ大会である。

東海ブロックは、男子が優勝、女子が第2位、男女総合では第2位という優れた成績を収めた。各選手が個人の力を発揮するとともに、ブロックの代表として仲間を応援し、最後まで得点を積み重ねた結果であり、東海ブロック全体の選手層の厚さと結束力を示す大会となった。

１toSWIMから東海ブロック代表として出場した玉置侑衣選手は、女子15～18歳400m自由形で第2位、女子無差別800m自由形でも第2位に入賞した。長距離種目で安定した泳ぎを見せ、二種目で上位入賞を果たして貴重な得点を獲得した。丹所潤瑠選手は、女子13～14歳100m自由形予選で第3位、決勝で第4位に入り、個人種目で得点に貢献した。さらに、4×100mメドレーリレーでは第1位、4×100mフリーリレーでも第1位となるチームの一員として力泳し、東海ブロックの好成績を支えた。

両選手は、個人種目とリレー種目の双方で持てる力を発揮し、上位入賞によってチームに大きな得点をもたらした。今回の経験は、今後の競技生活に向けた自信と新たな課題につながるものである。東海ブロックの代表として堂々と戦い抜いた二人の活躍をたたえるとともに、さらなる成長と次の大会での飛躍を期待したい。